

# 犬用石けんの使用方法

石けんを細かく刻みあらかじめ少量のお湯に溶かしておき、泡立てて使います。

※ 手作り石けんは合成成分である発泡剤（泡立ちをよくする成分）が含まれないので、泡だてネット等のご使用をお薦めしています。

## 【準備するもの】

石けん

泡立てネット

洗面器やたらい、バケツなど



量の目安：小型犬で1回のシャンプーに石けん 8～10 g 程度（1/8 サイズ）にお湯 100cc（中型犬 16～20g 程度（1/4 サイズ）大型犬 20～40g 程度（1/2 サイズ）毛量や汚れの具合によって量は変わります。お湯は石鹸の量に応じて増やしてください。）



石けんを溶かします。

前もって前日などに、なるべく細かく刻んだ石けんを瓶などに入れて規定量のお湯で溶かしておくとし、当日すぐにシャンプーに取りかかれて便利です。

シャンプー当日に石けんを溶かす場合、細かく刻めば2時間ほどで溶けますが、お急ぎの場合はスプーンなどで薄く削り取り蓋付きのシェイカーにお湯と一緒にに入れて振ると溶けやすいです。



溶かした石けん液を洗面器などに入れ、手で泡立てネットやスポンジを使いよくしゅくしゅ揉んで泡立てます。

見た目はそっくりですが、100均（110円）のものよりも無印良品の泡立てボール・大（150円）の方がよく泡立つのですぐにもこもこの泡がたっぷりできます。ご参考までに♪

（無印良品のまわしものではございません笑）

この泡を体に乗せてよくなじませてからすすぎます。

この時、あまりゴシゴシ洗うと皮膚を痛めますので、優しく洗ってあげてください。



石鹸液を泡ディスペンサーに入れてハンドソープのようにぶしゅぶしゅと出しながら、使うこともできます。小型犬はこちらの方が洗いやすいかもしれません。

※石けんシャンプー後3日間はふわふわの手触りです。皮脂が毛の末端まで行き渡る3日目以降は、本来の光沢が出てきます。

## よくある質問

### Q.市販のシャンプー剤より泡がすぐ消えてしまいます

A.市販のシャンプー剤には、泡立ちや泡の持ちをよくする成分が多く配合されています。ゆう工房の手作り石けんはそのような合成成分を一切含んでいないため、市販のシャンプーに比べ泡立ちや泡の持ちが少なく感じられるかもしれません。しかし手作り石けんならではの天然の界面活性効果でしっかりと汚れを落とすことができますのでご安心ください。

### Q.リンスはしなくていいのですか？

A. ゆう工房の手作り石けんには被毛と皮膚に自然なトリートメント効果をもたらすため、基本的にリンスは必要ありません。シャンプー直後はふわふわに。シャンプーの3日後からはツヤが戻ってきます。

洗う時には、以下のポイントもあわせて実行してください。

- 皮膚や被毛の隅々まで濡らすこと  
石けんは水に溶けてはじめて泡立ちます。水が少ないと泡が途切れてよく洗うことができません。ワンちゃんの被毛は水をはじいて濡れにくいので、シャンプー前に全身をしっかり濡らし、シャンプー中も時々被毛を濡らしながら洗ってください。薄めた石けん液で全身を濡らしてから洗うとよく泡立ちます。
- 石けんをしっかりと泡立てること  
泡は摩擦で被毛や皮膚がいたむのを防ぎ、汚れを絡め取って洗いやすくしてくれます。石けんをよく泡立て、適度に泡を足しながら指の腹を使ってやさしく洗ってあげましょう。
- 汚れに見合った量の石けんを使うこと  
泡立ちにくかったりすぐに泡が消えてしまうときは、汚れに対する石けんの量が十分ではありません。石けんはたっぷり使い、洗う回数も汚れの程度や毛量にあわせて調節してください。しっかりと泡立てた泡で洗うのが大切です。
- しっかりと洗い流すこと  
石けんは大量の水で薄まるとすぐに界面活性力を失います。泡切れがよく、皮膚や被毛に残留しないのはこの性質によるものです。とはいえ、やはりすすぎは全身しっかりと。すすぎ残しは雑菌を繁殖させ皮膚トラブルにつながります。洗い桶に溜めたお湯でのすすぎはせず、必ずシャワーのかけ流しですすいでください。  
(脇の下やお腹、お尻周り、足先などが洗い残りやすいため注意する。)

泡立て方について、詳しくはこちらから動画をご覧ください→



ゆう工房のホームページには上記以外のよくある質問や実際のうちの子のシャンプー動画などもございますので、よろしければご覧ください。